

20年の眠りから覚めた矢板のトレインを、20歳の若い力が駆け抜ける。

2014年3月8日(土) 栃木県矢板市
日本学生選手権ミドル・ディスタンス競技



女子優勝 宮川早穂 (立教大学)



男子優勝 杉村俊輔 (東北大学)

男子 - 3.9km ↑ 215m

1	杉村俊輔	0:32:00	東北大学 3
2	松下睦生	0:32:34	京都大学 3
3	尾崎弘和	0:32:37	早稲田大学 3
4	宮西優太郎	0:33:16	東北大学 2
5	細川知希	0:33:19	名古屋大学 4
6	深田 恒	0:33:47	東京大学 2

宮川、インカレ初優勝

20歳にしてオリエンテーリング歴20年? ジュニアの頃から活躍してきた宮川早穂が、インカレ個人戦として4回目にして初の金メダルを獲得した。優勝インタビューでは「素直に嬉しい!」「ここまで来れたのも素晴らしいライバルのおかげ」と涙で言葉を詰まらせた。

ミドル二冠・杉村

東北大学の杉村がインカレミドルを制した。杉村は昨年11月に行われた全日本ミドル選手権でも優勝しており、これでミドル競技二冠に輝いた。

勝っても、兜の緒を締め直していた。

優勝インタビューでは「気持ちはすでに明日のリレーに向かっている」と、東北大学の二連覇に向けての意気込みを語っていた。



冬晴れの高原山をバックに、応援歌と声援が里山に響く



中間スペクテーターズコントロールの前で応援合戦が繰り広げられる。各大学の旗がはためく。

冬晴れの矢板

栃木県矢板駅北側の森は、今から20年前に公認朝日大会が開催されたのを最後に、オリエンテーリングで使用されなくなっていた。今回のインカレミドルでは、このトレインを再調査して地図を整備し開催された。このインカレの主役となったのは20歳前後の大学生たち。ちょうど前回の大会の頃に生まれている。

このインカレミドルの学生参加者は782名。昨年実績と比べても74名増えている。一次期減っていたインカレ参加人数だが、順調に増加に向かっている。来る新歓ではさらに多くの新人を獲得し、できれば参加学校数も増やしてもっと盛り上がるインカレを目指して欲しい。

(木村佳司)

女子 - 2.9km ↑ 170m

1	宮川早穂	0:31:50	立教大学 2
2	高橋美誉	0:32:09	岩手大学 4
3	横山理恵	0:34:17	金沢大学 4
4	星 美沙	0:34:50	椋山女大 3
5	大河内恵美	0:34:51	横浜市大 4
6	松田沙也加	0:36:53	岩手大学 2